

平成29年度「愛のひと声・あいさつ運動」実施結果

1. 趣旨

愛のひと声・あいさつ運動は、近隣の子ども達の名前・顔を覚えることからはじめ、地域社会で声をかけあい、あいさつを交わす良い習慣を築くことで、青少年を非行から守り、また、迷いが生じた時に「自制する力」「がまんする力」を育てるための活動です。

2. 実施結果

実施時期	実施団体数	延べ活動日数	参加人数
① 1月～7月20日	96 団体	6,759 日	34,609 人
② 強調期間中(7/21～8/31)	146 団体	1,924 日	19,743 人
③ 9月～12月(予定)	100 団体	4,031 日	24,226 人
合計 (①+②+③) (報告書提出)	162 団体	12,714 日	78,574 人

主な活動者は、町会・自治会単位やPTAなど青少年に関わるいくつかの団体が実施してありました。PTAに地域のCを取り入れた「PTCA」として、学校を核とした地域のコミュニティ支援のため、青少年部の活動を行う町会もありました。

実施形態はさまざまで、通学路において「8&3運動」と称し、朝8時と夕方3時の小学生の登下校の時に見守りを行う町会もありました。また、ラジオ体操や夏祭り、夜間巡視など町会の行事にあわせて実施している団体もありました。

運動をしてみて「子どもたちに毎日あいさつをすることで、子ども達の顔を覚え、また成長を感じ、親近感がわいた」との声が寄せられました。

青少年が心身ともに健やかに成長できる環境づくりを推進するため、「地域の子どもは地域で守り育てる」「大人が変われば子どもも変わる」を基本に、地域社会が一体となり「愛のひと声・あいさつ運動」や「非行防止キャンペーン」などの事業を展開しています。

今後におきましても、多くの関係団体・機関の皆様のご協力を得ながら、青少年健全育成及び非行防止の推進に取り組んで参ります。